

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
情報エキスパート Computer Expert		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
亀田和則	講義棟2階	月曜日	授業中に指示します	
授業の概要				
<p>スマホ、パソコン、携帯電話、だれもがなんらかの情報機器を使う時代だ。Webサイト、SNS、ブログ、メール、だれもがなんらかの情報サービスを利用する時代だ。情報機器も、情報サービスも、以前と比べると格段に使いやすく、親切になっているので、使うだけであれば、だれでも使える時代になっている。</p> <p>この授業は、パソコンをよりよく使えるように、パソコンやインターネット、情報サービスに関する基本的な知識やしくみ、考え方を学習する。</p>				
授業の目標				
<p>①パソコンの中がどうなっているかを説明できるようにする。  ②パソコンを便利にする周辺機器を説明できるようにする。  ③パソコンのOSとアプリケーションを説明できるようにする。  ④パソコンのファイルを説明できるようにする。  ⑤インターネットの仕組みを説明できるようにする。  ⑥パソコンを安心して使うためのセキュリティ対策や他人に迷惑をかけないための情報モラルを説明できるようにする。</p>				
授業の方法				
<p>①基本的にはプロジェクタを使用した講義である。  ②スケジュールを変更する際には授業にて連絡する。  ③理解度の確認を3回実施する。  ④留学生は、教科書の漢字・カタカナにふりがなをつける。</p>				
学習の成果（学習成果）				
<p>①授業の目標①②を達成すると、パソコンのスペックの見方を説明することができ、使用目的に適合するパソコンを選択することができる。  ②授業の目標③④を達成すると、問題解決に必要なソフトウェアを選択することができる。  ③授業の目標⑤⑥を達成すると、問題解決に必要なサービスの選択、インターネットの危険から身を守ることができる。</p>				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（学習成果、成績評価）			
第2回目	1章 パソコンはこんな機械			
第3回目	2章 パソコンの中はどうなっているの（パソコンの内部、CPU、メモリ）			
第4回目	2章 パソコンの中はどうなっているの（ストレージ、ビデオ機能、サウンド機能）			
第5回目	3章 パソコンをさらに便利にする周辺機器（周辺機器の基本、ディスプレイ、プリンター）			
第6回目	3章 パソコンをさらに便利にする周辺機器（光学ドライブ、外部記憶装置） パソコンのスペックの見方（自作パソコンの資料を配布）			

第7回目	理解度の確認 1 と解説	
第8回目	4章 パソコンのOSとアプリケーション (OSとは、パソコンのOSとアプリケーション、アプリケーション、アカウント)	
第9回目	5章 ファイルがわかるとパソコンがもっとわかる (ファイルとは)	
第10回目	5章 ファイルがわかるとパソコンがもっとわかる (画像ファイル、音楽ファイル、動画ファイル)	
第11回目	理解度の確認 2 と解説	
第12回目	6章 いつも使っているインターネットのしくみ (インターネットとは、メール、Webサイト、SNS)	
第13回目	6章 いつも使っているインターネットのしくみ (クラウド) 7章 パソコンを安心して使うために (基本の対策、無線LAN、ウィルス・偽装)	
第14回目	7章 パソコンを安心して使うために (情報漏洩、情報モラル)	
第15回目	理解度の確認 3 と解説	
事前・事後学習	事前：授業に参加するとき、日本人学生・留学生ともに授業範囲の教科書部分を読む。留学生は漢字、カタカナにふりがなをつける。事後：授業で不明だった点は必ず次回授業までに調べておく。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート		
調査報告書		
小テスト	100%	理解度の確認が該当する。試験 1 つあたりの配点は100点/3である。記述問題で満点となる条件は「授業内容を十分に踏まえ、文章が明快である」である。
試験		
発表内容 (態度含む)		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「理解するほどおもしろい！パソコンのしくみがよくわかる本」 (出版：技術評論社) (著者：丹羽信夫) ※必ず購入し、第一回目の授業から持参すること。		
履修上の留意点・ルール		
日本人用授業と留学生用授業があるので、履修登録のとき間違えないようにする。 教科書を購入していない学生はこの授業を履修出来ない。 2回の遅刻は1回の欠席となる。		